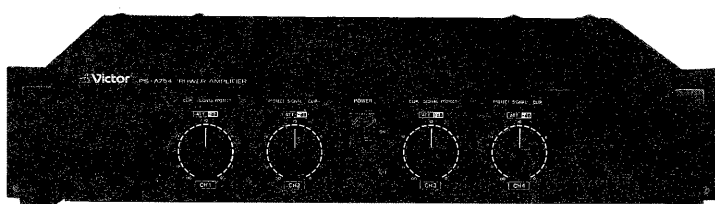




PS-A754

4チャンネルパワーアンプ



目次

特長	②
安全上のご注意	②
取扱い上のご注意	②
保証とアフターサービスについて	③
セッティングの前に	③
各部の名称と働き	④
接続のしかた	⑥
ラックへの組み込みについて	⑧
ブロックダイヤグラム	⑩
仕様	⑪



Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

— お買上げありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

このたびは
4チャンネルパワーアンプ
PS-A754を
お買いあげいただき
ありがとうございます。

特長

- 定格出力で50W×4(8Ω)、最大出力で75W×4(4Ω)のパワーが得られます。
- スイッチの切換えにより、150W×2(8Ω)の大出力2チャンネルパワーアンプとして使用可能。またスイッチの切換えの組み合わせにより、50W×2(8Ω)+150W(8Ω)の3チャンネルパワーアンプとすることもできます。
- 入力には電子バランス回路を採用。トランスによる音質劣化がありません。
- 入力端子はキャノンタイプ(XLR-3-31相当)と6.3φステレオフォノジャックを装備しています。

- PA用として保護回路も強化

電源スイッチ“ON”“OFF”時のポップノイズを防ぐミューティング回路と、過負荷・出力短絡時にオーバードライブを防ぐASOリミッター、DC電圧と熱を検出し、出力を遮断する保護回路を装備しています。

- SIGNALとCLIP状態が一目で監視できるシグナルインジケータ採用。
- EIAラックマウント対応。

安全上のご注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずにかならずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- コードが熱器具に触れたり、近づくことがないようにしてください。被覆が破れたり変形し危険です。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- 万一、本機に異常(異常な音・におい・煙など)があったとき、あるいは内部に異物が混入したり、水が入ったときなどは、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。
- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。

取扱い上のご注意

- 窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変形、変色、故障することがあります。
- 湿気の多い場所または油煙や湯気が当たるような場所は避けてください。故障の原因となります。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(カそざい)の働きにより変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

保証とアフターサービスについて

保証の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の接続についてお調べください。それでも具合が悪いときは、ACコンセントを抜いて、次のことをお知らせください。

- ・機種名：PS-A754
- ・故障の状態をできるだけ詳しく
- ・ご購入年月日 ご住所 ご氏名 電話番号

セッティングの前に

●設置場所について

本機の上に信号レベルの低い機器を設置すると、本機のパワートランスの漏れ磁束によりハム雑音が出ることがあります。CDプレーヤ、テープデッキなどはできるだけ離して設置してください。

●放熱について

大出力動作で長時間ご使用いただく時は、本機の周囲（特にフロント・リアパネル側）に十分なスペースを取り、空気の流通をよくしてください。

●電源スイッチの投入について

すべての結線が終わってから本機の電源を“ON”にしてください。また、接続コードの抜き差しは本機の電源を“OFF”にしてから行ってください。

ミキサ、イコライザなどと組み合わせてご使用になる時は、本機の電源スイッチは最後に入れてください。他の機器の電源投入ノイズ等でスピーカが破損するのを防止できます。

電源を切る時は、まず本機から“OFF”にすることで、同様の効果が得られます。

多数のアンプをご使用になる時は、電源スイッチを同時に入れないようにしてください。同時に電源を入れますと、突入電流のため商用電源(AC100V)のプレーカが切れる場合があります。十分な容量のある電源に接続してください。

●ミューティング動作について

電源を入れてから3～5秒間はプロテクト表示ランプが点灯し、音が出ません。これはミューティング動作のためで、故障ではありません。

●2チャンネルパワーアンプとしてのご使用について

本機を2チャンネルパワーアンプとしてご使用になる場合(リアパネルの“MODE1”、“MODE2”スイッチを“MONO”にした時)は、スピーカ出力端子のCH1 ⊕とCH2 ⊕、CH3 ⊕とCH4 ⊕の間にそれぞれスピーカを接続してください。

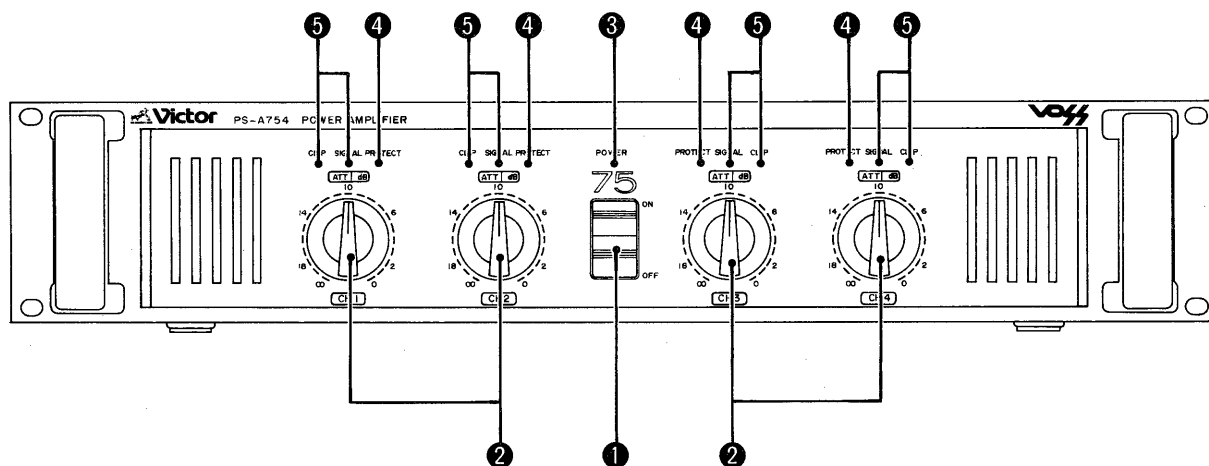
入力信号は必ず“CH1/MONO”および“CH3/MONO”へ接続してください。

“CH2”、“CH4”へ入力しても動作しません。

(詳細は⑥ページ参照)

各部の名称と働き

■フロントパネル



① POWER 電源スイッチ

スイッチを“ON”側にすると電源が入ります。

電源を投入すると③電源表示ランプ(緑)および④プロテクト表示ランプ(赤)が点灯します。(この状態では、出力が遮断されています。)3~5秒後にプロテクト表示ランプが消灯し、動作状態に入ります。

電源を切る場合には、スイッチを“OFF”側にしてください。

② ATT 入力アッテネータ

入力感度を+4dBsから可変できます。ミキサ、プリアンプ等の出力レベルに合わせて調節してください。(1dBステップ・クリックポジション付です。)

2チャンネルパワーアンプとしてご使用のときは、CH1側及びCH3側の入力アッテネータで調節してください。

③ POWER(緑) 電源表示ランプ

電源スイッチ“ON”で点灯します。

④ PROTECT(赤) プロテクト表示ランプ

電源スイッチ“ON”で点灯し、3~5秒後に消灯して動作状態に入ります。また、保護回路が動作し、出力が遮断された時も点灯します。(ミュート動作)消灯しない場合は、何らかの異常が考えられますので、一旦電源を切って原因を調べてください。

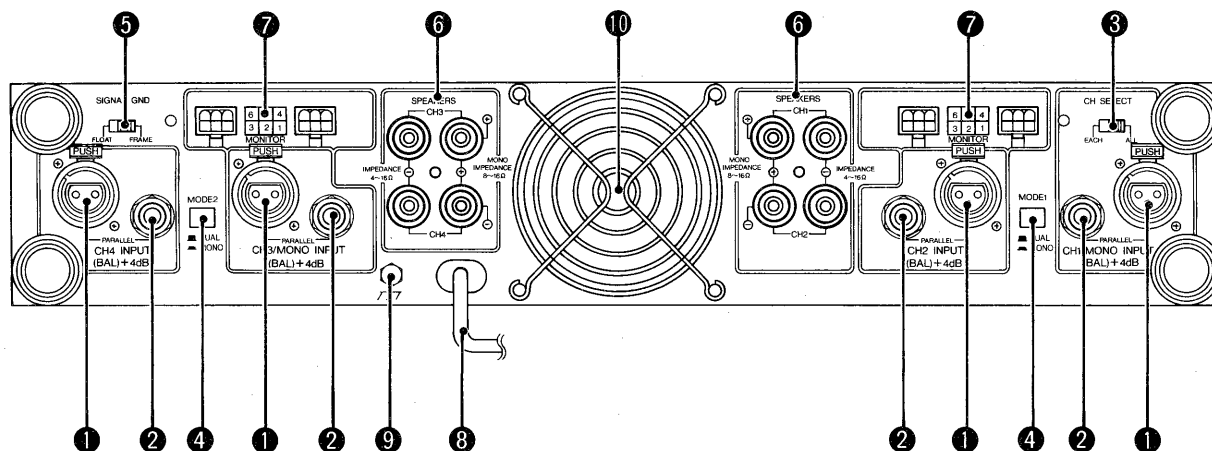
⑤ SIGNAL(緑) CLIP(赤) シグナルインジケータ

各チャンネルの信号レベルを表示します。

通常の使用状態ではSIGNALのランプが点滅します。

CLIPのランプは、出力がクリップすると点灯し、これ以上のレベルでは出力が歪みますので、CLIPランプが点灯しない範囲でお使いください。

■リアパネル



①② INPUT(BAL) 入力端子

CH1/MONO・CH2・CH3/MONO・CH4、
平衡 +4dBs 20k Ω

- ① キャノンタイプコネクタ(XLR-3-31相当)
- ② 6.3 ϕ ステレオフォノジャック

のうちから入力端子を選べます。

2チャンネルアンプとしてご使用になる時は、**CH1/MONO**側、**CH3/MONO**側へ入力信号を接続してください。**CH2**側、**CH4**側へ入力しても動作しません。

①②の入力端子は並列接続になっていますので、他のパワーアンプとの入力並列接続端子として使用できます。

③ CH-SELECT 入力チャンネル切換スイッチ

EACH-ALL

入力を各チャンネルごとに独立させる場合は、このスイッチを“EACH”側に、**CH1**への入力を他のチャンネルすべてに分配する場合はこのスイッチを“ALL”側に切り換えてください。

④ MODE1・MODE2 動作モード切換スイッチ

DUAL-MONO

本機を2チャンネルパワーアンプとしてご使用になる場合などにこのスイッチを切換えます。

CH1・CH2をモノラル動作させる場合は、“MODE1”のスイッチを押して“MONO”の状態に**CH3・CH4**をモノラル動作させる場合は、“MODE2”のスイッチを押して“MONO”の状態にしてください。

⑤ SIGNAL GND シグナルグランド切換スイッチ

FLOAT-FRAME

シグナルグランドをフレームグランド(筐体)に接続するか、切り離すかを切換えるスイッチです。通常は“FRAME”側に設定してください。

ご注意

- 本機を金属性ラックにマウントする場合に、ラックを経由して他の機器と導通してアースループが発生し、ハムノイズなどが出る場合があります。このような場合は、シグナルグランド切換スイッチを“FLOAT”側にしてください。

⑥ SPEAKERS スピーカ出力端子

各動作において、接続できるスピーカのインピーダンスは次の表のようになります。

動作モード 切換スイッチ		スピーカ端子	接続できるスピーカの インピーダンス
MODE1	“DUAL”	CH1 \oplus ~ \ominus CH2 \oplus ~ \ominus	4~16 Ω
	“MONO”	CH1 \oplus ~CH2 \oplus	8~16 Ω
MODE2	“DUAL”	CH3 \oplus ~ \ominus CH4 \oplus ~ \ominus	4~16 Ω
	“MONO”	CH3 \oplus ~CH4 \oplus	8~16 Ω

2チャンネルパワーアンプとしてご使用になる場合などで、

CH1・CH2をモノラル動作させる場合は、**CH1 \oplus** 端子をホット(+側)、**CH2 \oplus** 端子をコールド(-側)に接続してください。

又、**CH3・CH4**をモノラル動作させる場合は、**CH3 \oplus** 端子をホット(+側)、**CH4 \oplus** 端子をコールド(-側)に接続してください。

ご注意

- 出力回路の並列接続はできません。
- モノラル動作のときは同一チャンネルの \oplus ・ \ominus 間には、スピーカを接続しないでください。

⑦ MONITOR モニター出力端子(6ピン)

外部から本機の出力を制御・監視するときなどに使用します。

(モニター出力端子の接続については⑦ページ参照)

⑧ 電源コード

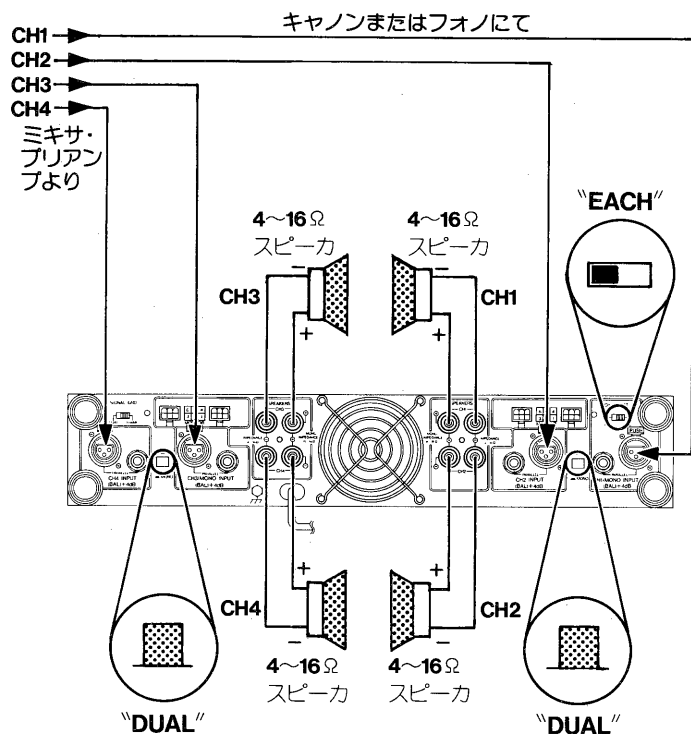
⑨ GND グランド端子

⑩ 強制空冷ファン

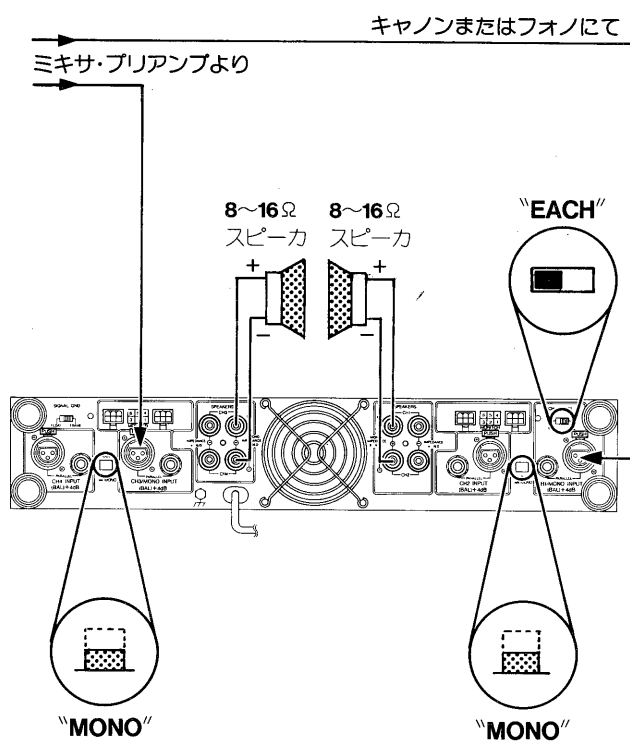
大出力時には自動的に高速回転に切換わる2ステップ・スピード・ファンです。

接続のしかた

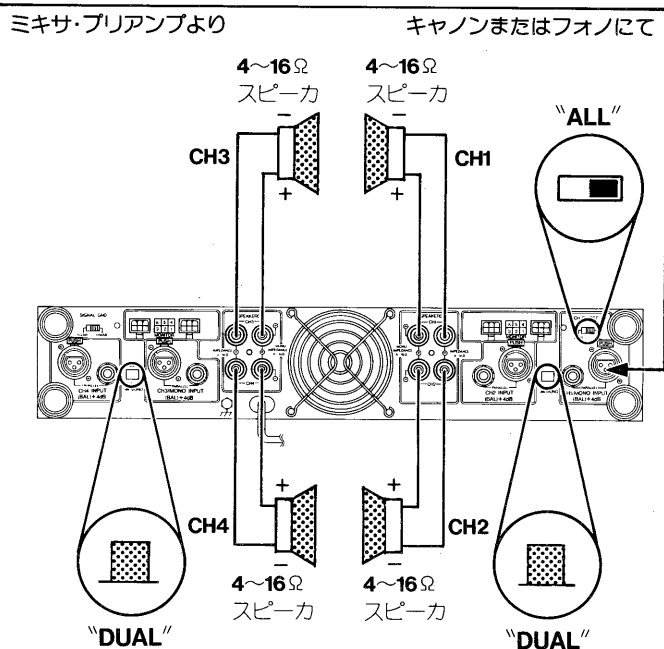
■ 4CH 入力/4CH 出力



■ 2CH 入力/2CH 出力

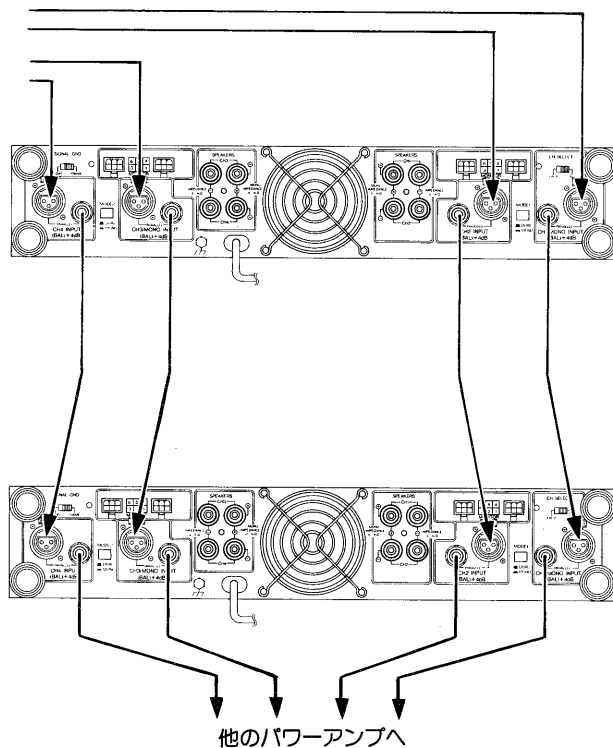


■ 1CH 入力/4CH 出力



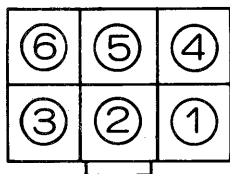
■ 入力の並列接続について

接続可能台数は最大 10 台です。(ミキサ出カインピーダンス 600 Ω 時)



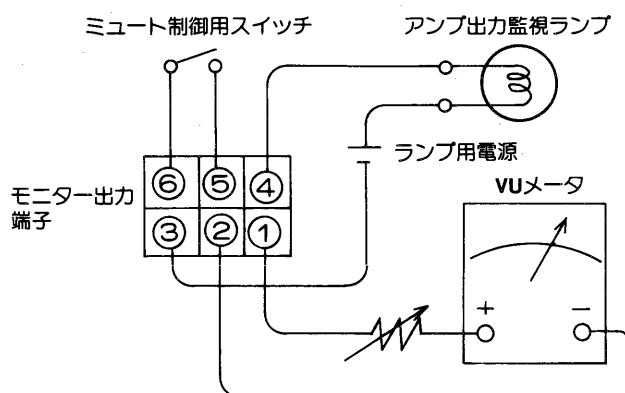
■モニター出力端子の接続について

(1)ピンの配列と働き



ピン番号	名称	働き
①	HOT	モニター出力 定格出力時(負荷 $8\Omega \cdot 50W = 28.2\text{dBs}$)に+4dBsの信号が出力されます。 接続するモニター機器(VUメータ等)の入力インピーダンスは7.5k Ω 以上でご利用ください。
②	COLD	
③	タリール出力	出力ミュートリレーと連動するリレー接点です。保護回路が動作して出力が遮断されている状態("PROTECT"点灯)のときブレイクします。 (接点容量DC30V 2Aまで)
④		
⑤	MUTE	ミュート ⑤~⑥間をショートすると保護回路が動作して、出力が遮断されます。("PROTECT"が点灯します。)再び⑤~⑥間をオープンにすると、3~5秒後に出力ミュートは解除されます。("PROTECT"が消灯します。)
⑥	GND	

(2)接続例



- 電源が"ON"になってミュートが解除されるとアンプ出力監視ランプが点灯します。
- 入力信号が加わるとVUメータが振れます。
- アンプが異常発熱または故障して保護回路が動作し、出力が遮断されるとアンプ出力監視ランプが消灯し、VUメータも振れません。
- ミュート制御用スイッチをショートすると保護回路が動作し、出力が遮断されます。

■接続ケーブル

入力コネクタの配線は次のようにしてください。

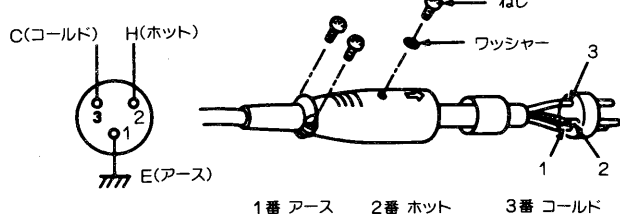
XLRタイプコネクタの場合

- 1番：アース
- 2番：ホット
- 3番：コールド

6.3 ϕ ステレオフィノプラグの場合

- スリーブ：アース
- チップ：ホット
- リング：コールド

入力端子配線



ご注意

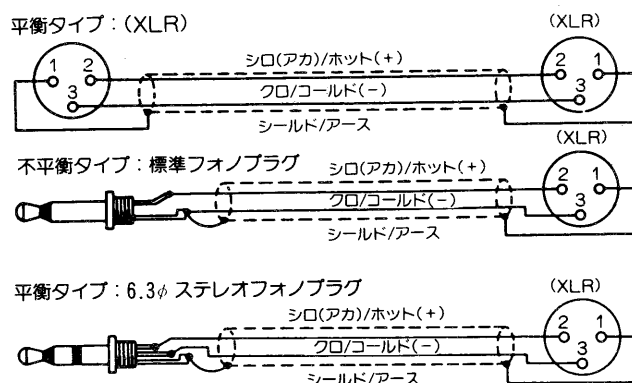
- モニター出力端子の接続コネクタは本機に添付されていません。モニター端子を使用する場合にはコネクタワイヤー Ass'y を別途購入(サービス部品扱い)してください。

品番	品名	備考
SS48294-00A	コネクタワイヤー Ass'y	ハウジング、ピン、ワイヤー1m付

尚、コネクタワイヤー Ass'y を現地で製作する場合は、下記の部品を御用意願います。

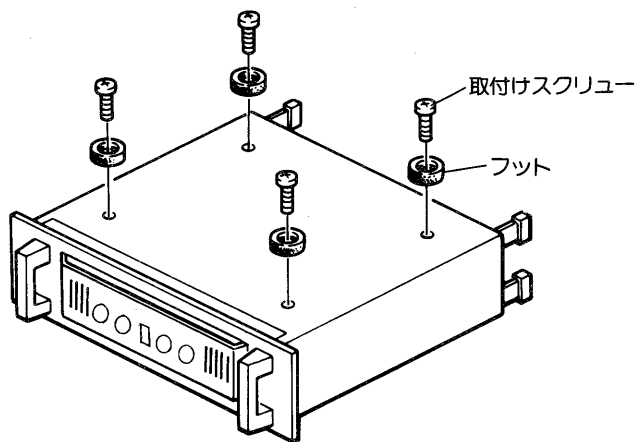
品番	品名
モレックス社：5557-06R	ハウジング
モレックス社：5556T	ピン

接続ケーブルを製作する時は下図を参考にしてください。



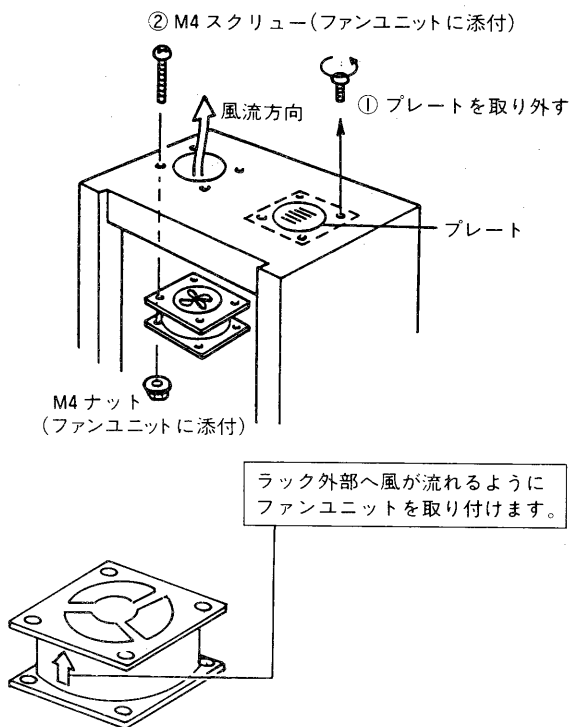
ラックへの組み込みについて

- 底面のフット取付けスクリュー4本をプラスドライバーで外し、フットを外してください。
- ラックに組み込む場合は、放熱効果をよくするためにパワーアンプの上下に1H以上のブランクパネル(PS-B1, PS-B2, PS-B3)を挿入するか、1H以上のすきまを取ることをおすすめします。



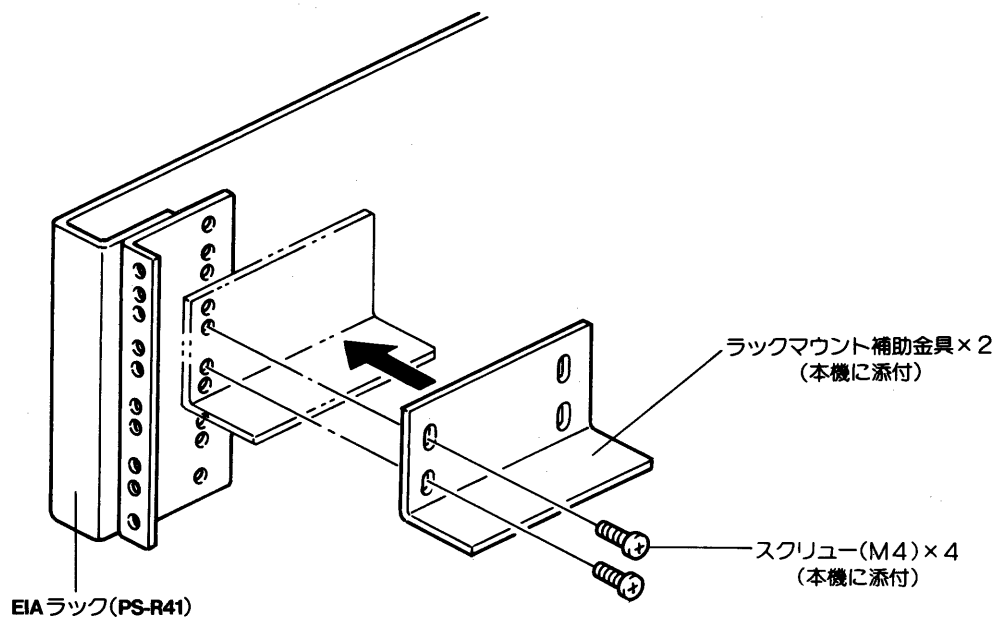
■ EIA ラック(PS-R41)への組み込みについて

- EIA ラック(PS-R41)をご使用されるときは、放熱効果をよくするためファンユニット(PS-R413)を必ず2台、ラックの上
面内側に取付けてください。
取り付け方は、下記の手順に従ってください。
 - ① トップカバーのプレートを取り外します。
 - ② ファンユニットは添付のスクリューを利用し、トップカバーへ取付けます。
(ファンユニットの取付けはしっかりと行ってください。ファンユニットとトップカバーの間にすき間があると、ファン回転中に騒音を発する恐れがあります。)
 - ③ パワーコード接続
ファンユニットとパワーコードの接続は差し込み式になっておりますので、十分差し込んで使用してください。
(差し込み不十分ですと、ファンユニットの故障の原因になる場合もあります。)



- EIA ラック(PS-R41)へ組み込み可能な PS-A754 の台数は、8 台です。

- EIA ラック(PS-R41)のユニット組み込み位置の左右両側に、本機に添付されているラックマウント補助金具を添付のスクリーン(M4)で取付け後、ユニットを組み込みます。



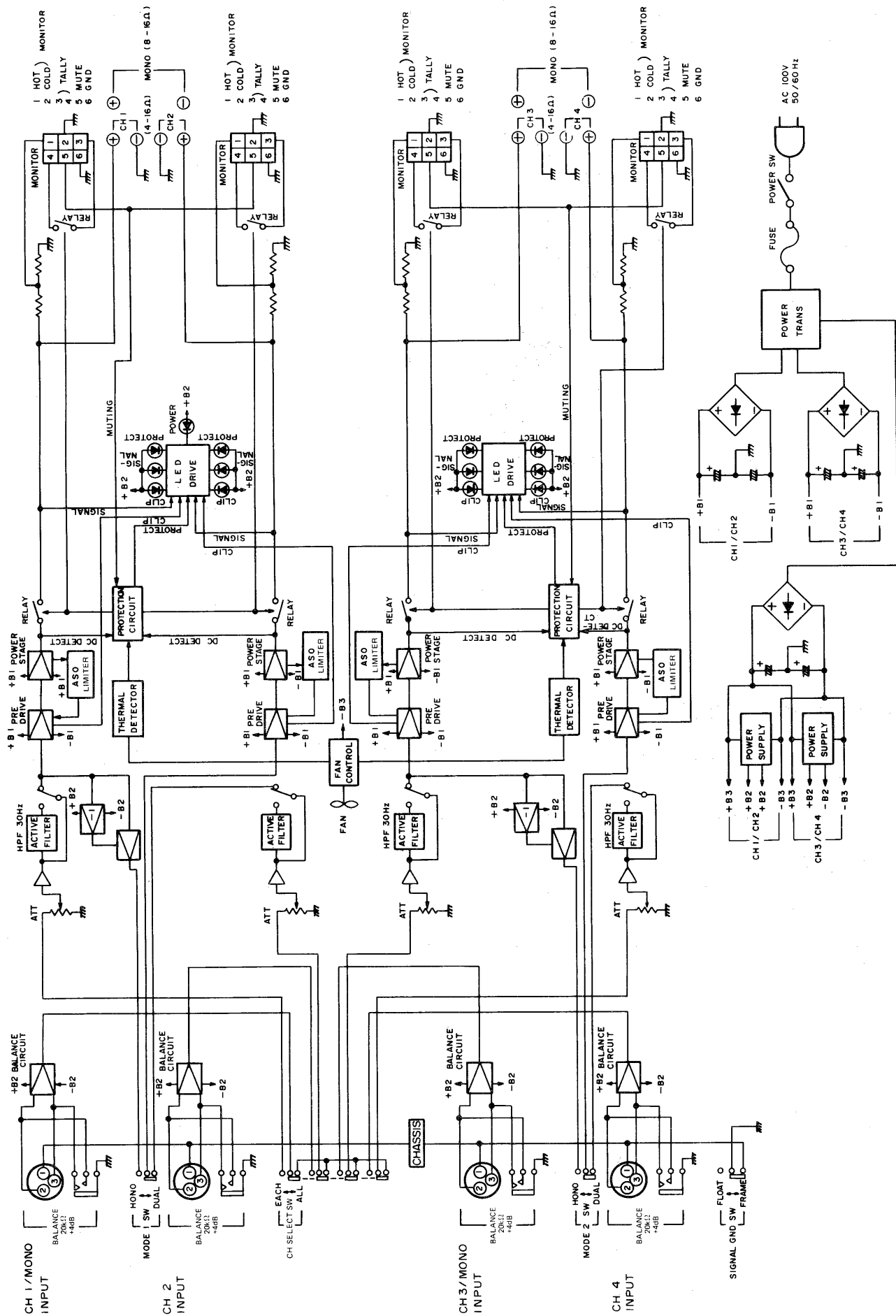
■システムラック(PS-R20)への組み込みについて

- システムラック(PS-R20)にパワーアンプを組み込まれるとき、パワーアンプの組み込み台数の消費電力の合計が **600W** を超えないようにしてください。
- システムラック(PS-R20)へ組み込み可能な PS-A754 の台数は、最大 **2** 台です。

— ご注意 —

システムラック(PS-R20)に、ファンユニット(PS-R413)を取付けることはできません。

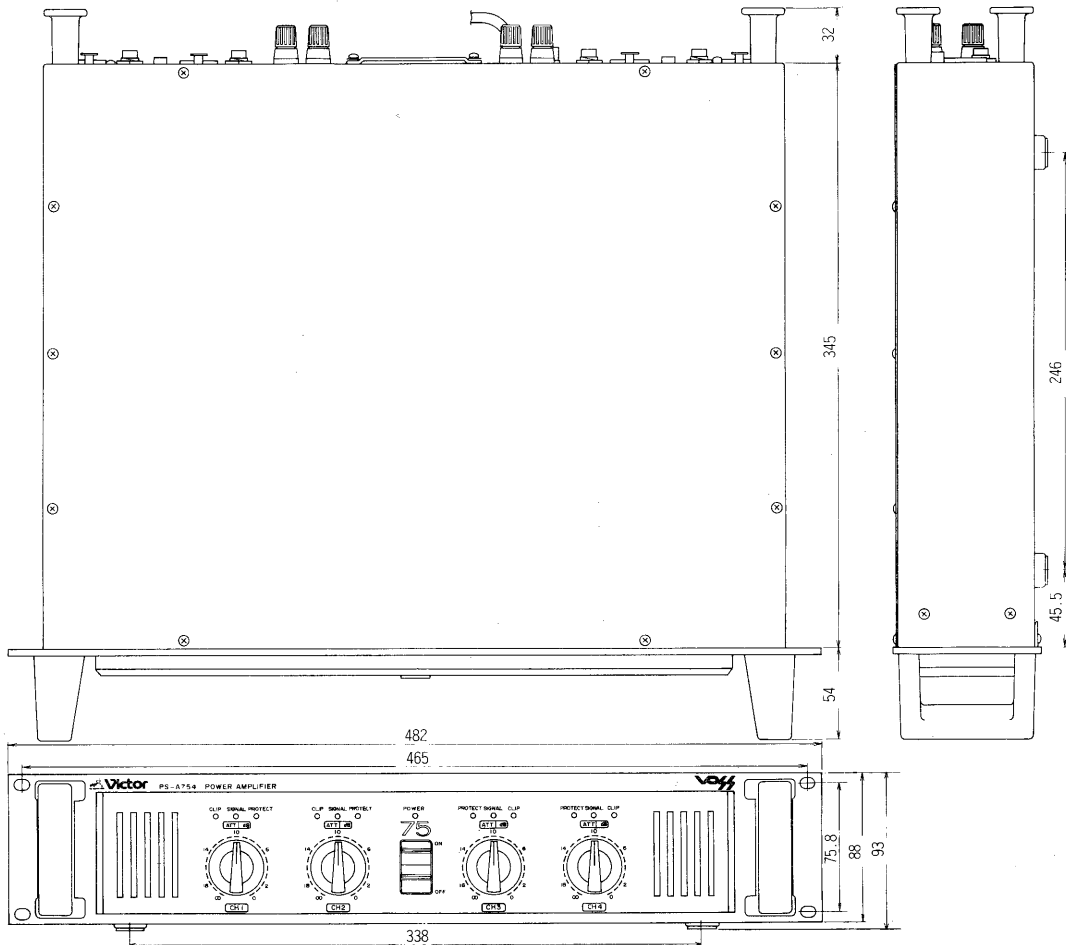
ブロックダイアグラム



仕様

回路方式	パワートランジスタピュアコンプリメンタリプッシュプル		
定格出力	50W×4 (20Hz~20kHz、0.05%、8Ω、EIAJ)		
最大出力	75W×4 (1kHz、0.1%、4Ω、EIAJ)		
BTL最大出力	150W×2 (1kHz、0.1%、8Ω、EIAJ)		
全高調波歪率	0.05%以下(20Hz~20kHz、50W×4、8Ω)		
周波数特性	20Hz~20kHz ±0.5dB		
クロストーク	60dB以上(20kHz)		
S/N比	100dB以上(IHF-A 入力短絡)		
入力感度	+4dBs(0dBs=0.775V)		
電圧増幅度	24dB		
入力インピーダンス	20kΩ(平衡)、20kΩ(不平衡)		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	⊕275W、8Ω定格出力時435W		
外形寸法	482(幅)×93(高さ)×431(奥行)mm		
重量	13.5kg		
仕上	フロントパネル：黒色アルマイト仕上	マンセルN1近似	
	その他：黒色半艶塗装	マンセルN1近似	
付属品	ラックマウント用スクリュー(M5) … 4	添付物	保証書 …… 1
	ラックマウント用ワッシャー …… 4		ビクターサービス窓口案内 … 1
	ラックマウント補助金具 …… 2		取扱説明書 …… 1
	補助金具取付け用スクリュー(M4) … 4		

外觀寸法図



本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。